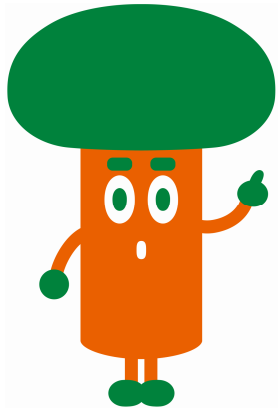
2026年度 第2四半期運用実績（速報）



国民年金基金連合会

1. 2026年度第2四半期の市場環境

主要国の株式市場は、AI・半導体関連株の急速な上昇に対する警戒感から、日米のハイテク株を中心に下落する場面もみられましたが、好調な企業業績を背景に総じて底堅く推移しました。主要国の長期金利は、インフレ懸念に伴う各国中央銀行の利上げ観測や、財政拡張への警戒感を背景に上昇しました。外国為替市場では、米ドル円相場が一時164円近辺まで円安方向に進行しましたが、日米協調介入や日銀による利上げ観測を受けて、円高方向へ修正される展開となりました。

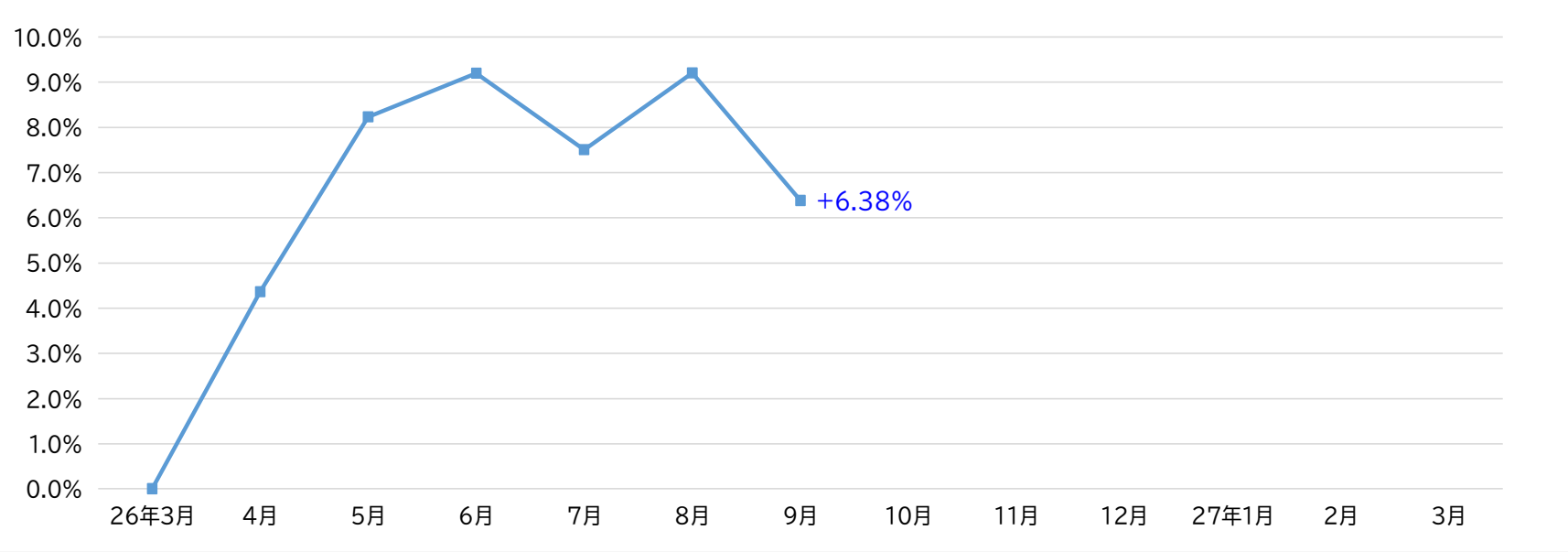
(1)主要指標の推移

		2026年3月末	2026年6月末	2026年7月末	2026年8月末	2026年9月末
国内債券	10年国債利回り（%）	2.35	2.67	2.79	2.94	3.05
国内株式	日経平均　（円）	51,063.72	70,062.32	64,362.02	66,311.93	66,753.72
	TOPIX　（ポイント）	3,497.86	3,994.76	4,003.30	4,156.29	4,108.65
外国債券	米10年国債利回り(%)	4.32	4.47	4.74	4.75	5.29
	独10年国債利回り(%)	3.00	2.86	3.21	3.32	3.59
外国株式	NYダウ　（米ドル）	46,341.51	52,319.20	52,485.03	53,185.90	50,906.05
	S&P 500　（ポイント）	6,528.52	7,499.36	7,489.72	7,686.14	7,651.54
	独DAX　（ポイント）	22,680.04	24,995.81	25,629.24	26,258.11	25,199.19
為替	米ドル/円　（円）	159.09	162.53	159.23	159.70	157.14
	ユーロ/円　（円）	183.30	185.81	183.20	185.50	178.48

1. 2026年度第2四半期の市場環境

(2)基本ポートフォリオの複合ベンチマークの推移

2026年度第2四半期の基本ポートフォリオの複合ベンチマークは、マイナス2.58%となりました。通期では、プラス6.38%となりました。

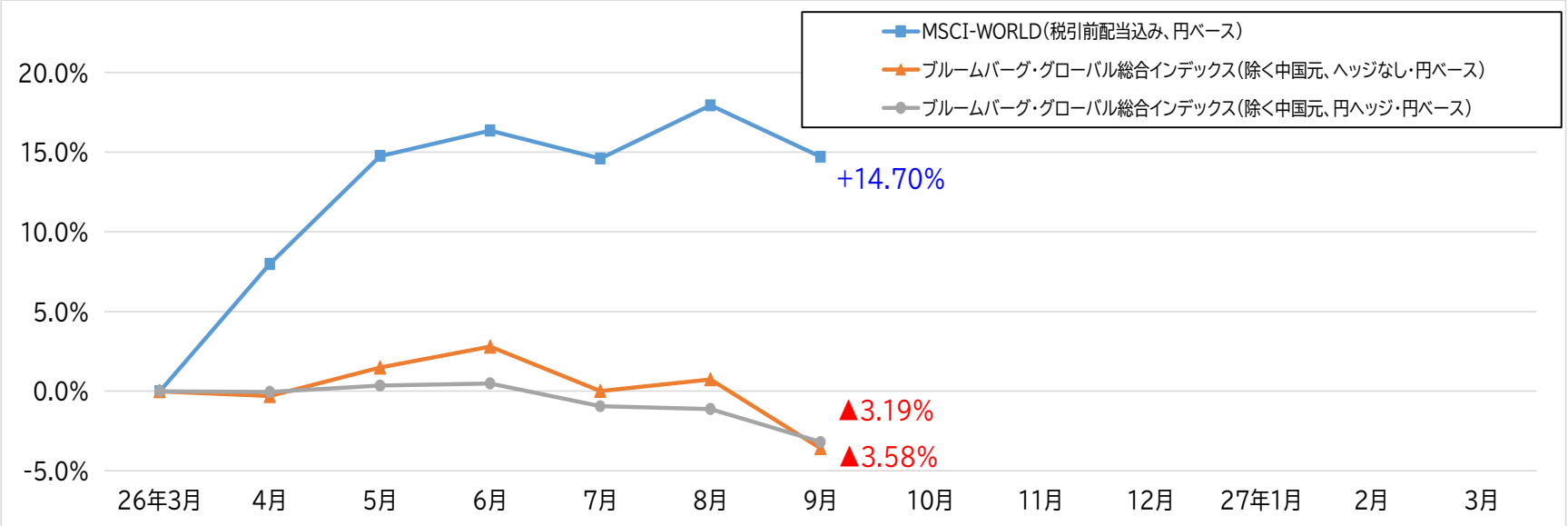


※基本ポートフォリオの複合ベンチマークは、非年率。

1. 2026年度第2四半期の市場環境

(3)基本ポートフォリオの資産クラス別ベンチマークの推移

2026年度第2四半期の各資産クラスのベンチマークは、グローバル債券(円ヘッジ)がマイナス3.65%、グローバル債券(ヘッジなし)がマイナス6.21%、グローバル株式がマイナス1.42%となりました。通期では、グローバル債券(円ヘッジ)がマイナス3.19%、グローバル債券(ヘッジなし)がマイナス3.58%、グローバル株式がプラス14.70%となりました。



※各資産クラスのベンチマークリターンは、非年率。

＜基本ポートフォリオのベンチマーク及び資産構成割合＞
・グローバル債券(円ヘッジ):ブルームバーグ・グローバル総合インデックス(除く中国元、円ヘッジ・円ベース):39%
・グローバル債券(ヘッジなし):ブルームバーグ・グローバル総合インデックス(除く中国元、ヘッジなし・円ベース):6%
・グローバル株式:MSCI-WORLD(税引前配当込み、円ベース):55%

2. 2026年度第2四半期の運用実績

2026年度第2四半期の収益率は、すべての資産クラスがマイナスリターンとなり、修正総合利回りでマイナス2.57%、時間加重収益率でマイナス2.41%となりました。
また、資産クラス別の時間加重収益率は、グローバル債券(円ヘッジ)がマイナス3.38%、グローバル債券(ヘッジなし)がマイナス4.92%、グローバル株式がマイナス1.49%となりました。

(1)修正総合利回り

	第1四半期	7月	8月	9月	第2四半期	通期
収益率	8.40%	-1.26%	1.55%	-2.85%	-2.57%	5.78%

※収益率は、非年率。

(2)時間加重収益率

	第1四半期	7月	8月	9月	第2四半期			通期
					収益率	ベンチマーク	超過収益率	
グローバル債券(円ヘッジ)	0.55%	-1.27%	-0.17%	-1.97%	-3.38%	-3.65%	0.27%	-2.85%
グローバル債券(ヘッジなし)	3.04%	-2.29%	0.89%	-3.54%	-4.92%	-6.21%	1.29%	-2.03%
グローバル株式	14.16%	-0.99%	2.67%	-3.09%	-1.49%	-1.42%	-0.06%	12.46%
連合会全体	8.52%	-1.18%	1.47%	-2.68%	-2.41%	-2.58%	0.16%	5.90%

※ベンチマークは、基本ポートフォリオにおける資産クラス別ベンチマークを指す(P3ご参照)。収益率は、非年率。

3. 2026年度第2四半期の資産状況

2026年9月末の積立金残高は、6兆0,724億円となりました。
2026年9月末の構成比は、グローバル債券(円ヘッジ)が38.6%、グローバル債券(ヘッジなし)が5.9%、グローバル株式が55.5%となりました。
なお、当四半期中、各資産クラスの乖離幅が許容乖離幅の上下限値を超えることはなかったことから、資産間リバランスは実施していません。

(1)積立金残高(2026年9月末)

6兆0,724億円(前年度末比:2,442億円増加)

(2)資産構成割合(2026年9月末)

	基本ポートフォリオ資産構成割合	許容乖離幅(上限)	許容乖離幅(下限)	2026年9月末		※乖離幅
				残高(億円)	(構成比)	
グローバル債券(円ヘッジ)	39%	5.0%	-5.0%	23,465	38.6%	-0.4%
グローバル債券(ヘッジなし)	6%	5.0%	-5.0%	3,568	5.9%	-0.1%
グローバル株式	55%	5.0%	-5.0%	33,691	55.5%	0.5%
全体	100%			60,724	100.0%	

※乖離幅は、基本ポートフォリオ資産構成割合からの乖離幅

4. 参考資料

【用語集】

◆ 修正総合利回り ◆

修正総合利回りは、簿価ベースである分母の元本平均残高に未収収益、評価損益を加え、総合利回りよりさらに時価ベースに近づけようとしたものです。

修正総合利回り ＝（当期実現損益 ＋ 当期未収収益増減額 ＋ 当期評価損益増減額）
÷（元本平均残高 ＋ 前期末未収収益 ＋ 前期末評価損益）× 100（%）

（ご参考）
総合利回り ＝（当期実現損益 ＋ 当期未収収益増減額 ＋ 当期評価損益増減額）÷（元本平均残高）× 100（%）

◆ 時間加重収益率 ◆

運用期間中に発生したキャッシュフローの影響を排除した時価ベースの収益率のことをいいます。最も厳密に計算する場合、キャッシュフローが発生するたびに期間（時間）を区切り、その分割された単位期間ごとに収益率を算出した上で、それらの収益率を掛け合わせ（加重）、年当たりの複利に換算します。

◆ 複合ベンチマーク ◆

複数資産に投資を行うポートフォリオ全体の運用成果の基本的な評価基準となる収益率のことをいいます。基本ポートフォリオの資産構成割合にそれぞれの資産のベンチマーク収益率を加重平均して求めます。一般的に、ポートフォリオ全体のベンチマーク（運用指標）として使用されています。